

JCAW

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.

ワシントンDC日本商工会会報

6月号

2017年 No. 494

目次

- ワシントン日本商工会ネットワーキングイベントのご案内.....2
- ワシントン日本商工会新任理事のご挨拶.....3
- ワシントンで働く女性の会(J-WIP)第10回会議報告.....4
- 第325回商工会ゴルフ大会開催報告.....5
- 広告募集のご案内.....7
- 米国での生活と移民法
第23回「移民法最新情報」
米国移民法弁護士 石田 砂織.....8
- ワシントン月報(第135回)
米国特許弁護士 服部 健一.....11
- 今月の書評
「アメリカはいかにして秘密を失ったか」
池原 麻里子.....15
- 情報セキュリティキーワード:
「WannaCry」
公認情報システム監査人 佐藤 暢宏.....17
- English Rescue by Jennifer:
「日本人が間違いやすい英語表現(63)」.....21
- アムトラック大陸横断鉄道乗車記
渡り蟹.....23
- 編集後記.....28

JCAW Copyright © 2017 All Rights Reserved.
会報内すべてのコンテンツの無断転用を禁じます。

今月の特集

「ワシントン日本商工会ネットワーキングイベントのご案内」

昨年大変好評で多くの皆様にご参加いただきました商工会ネットワーキングイベント。本年度の第1弾は来月7月の開催となります。Mark your calendar! P.2



「第325回商工会ゴルフ大会開催報告」

毎年恒例の本コンペですが、今年はStonewallゴルフ場で初の挙行となりました。お天気にも恵まれゴルフ日和となりました。P.5

「米国での生活と移民法」

今月は夏季にビザ申請をされる際の注意点、また補足質問書に關しての正確な情報などご教授いただきました。夏休み期間は大使館や領事館が通常より混み合うそうです。申請が必要な方はお早めに手続きをさせていただきます。P.8~

「情報セキュリティキーワード:『WannaCry』」

先月、世界中に大きな被害をもたらしたランサムウェア「WannaCry」。ご存知の方も多いと思われます。今後も同様のサイバー攻撃が増えると予想されています。兎にも角にもウィルス対策とバックアップが必要不可欠です。P.17~

「アムトラック大陸横断鉄道乗車記」

渡り蟹様よりスペシャル寄稿をいただきました。アムトラックでアメリカ横断ができるのをご存知でしたか? 夏休みのご予定がまだ未定の方は是非ご参考になさってください。P.23~





Save the Date!

JCAW's NETWORKING EVENT

ワシントン日本商工会
ネットワーキングイベント

Date: 7/24 (Mon), 2017

**Venue: Vapiano
1800 M Street NW,
Washington, DC
20036**



Please check our website
(jcaw.org) in July or the July
Newsletter for details!

ワシントン日本商工会 新任理事のご挨拶

新研修理事をご紹介します。会員皆様の益々のご指導、ご支援をよろしくお願い致します。



企画 中園 明彦 (2017年5月～)
Senior Vice President & General Manager
Washington DC office
ITOCHU International Inc.

2017年5月より企画担当理事を拝命致しました、伊藤忠ワシントン事務所の中園明彦です。

ワシントンには本年3月に着任いたしました。伊藤忠商事入社以来エネルギーを扱って参りましたが、米国赴任直前はUAEのドバイにて弊社の中近東ブロックの経営管理を行っておりました。ドバイとは気候・文化全てが異なる街での生活ですが、何かと話題の多い新政権誕生直後にワシントンで仕事を出来ること、大変興奮しております。

商工会では企画担当として、会員皆様に楽しんで頂ける行事を企画出来るよう努力させて頂く所です。ご指導・ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

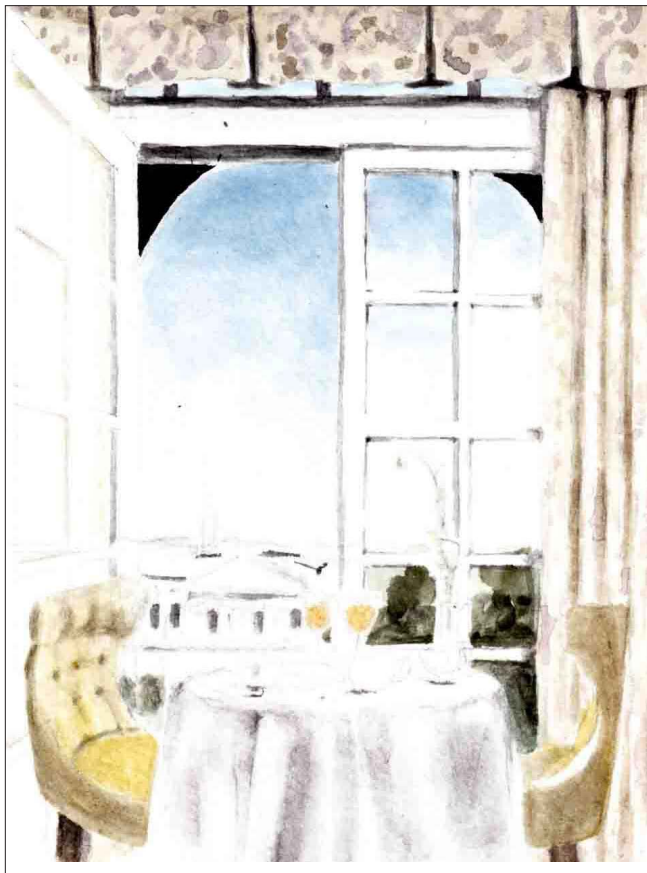


Illustration by Emi Kikuchi


日本通運
NIPPON EXPRESS

帰国の際の引越は、日通にお任せ下さい



International Moving

海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応じます。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで


日本通運 ☎ 703-661-8326 (引越し専用ダイヤル)
 URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi/>

ワシントンで働く女性の会 (J-WIP) 第10回会議報告

企画理事 安井真紀

ワシントンDCで働く女性の会 (Japanese Women in the Professions in Washington D.C. (J-WIP)) は5月10日、米政府機関や企業の役員等を対象にコーチングされている Sylvia Baffour 氏を講師にお迎えし、パブリック・スピーキングのセミナーを開催しました。パブリック・スピーキングのスキルは、講演会や会議のプレゼンテーションに限らず、ネットワーキング、面接など、日常の様々な場面で活用できるものです。また、ワシントンDCで働く上で、国際的なコミュニケーション能力を上げたいと感じている方は少なくないと思います。

今回のセミナーは、マインドセットの仕方から、緊張を和らげる方法、自らの意見を判りやすく伝えるコツ、自分の印象を強く残す効果的な仕草など、実用的な話術を学ぶ機会となりました。インタラクティブな授業形式で、質疑応答では参加者の仕事・生活で直面する課題に対し、講師と共に解決策を見出す場面も見られました。講師は2014年のパブリック・スピーキングの世界大会で、35,000人の中からセミファイナリスト(トップ18)に選ばれた実力者。パブリック・スピーキングは「自身のパフォーマンス」ではなく「聴き手との対話」なのだという、魅力的で無駄のない話振りが印象に残りました。

当日はJ-WIPのメンバー16名の方にご出席頂きました。セミナー終了後も、講師と直接お話しされる方が多く、打ち解けた雰囲気での会議を終えました。



【参加申込先・お問い合わせ先】

J-WIPでは引き続きメンバーを募集しております。ご関心のある方、以下連絡先までメールでご連絡ください。お待ちしております。

企画担当理事: 安井 (m-yasui@jbic.go.jp / mkysi.makimaki@gmail.com)

商工会会員: 酒向 (yuki.sako@klgates.com)

第325回商工会ゴルフ大会開催報告

企画理事 中島 健次郎



去る5月21日(日)、第325回商工会ゴルフ大会をバージニア州Stonewall GCにて開催いたしました。

風のない絶好のゴルフ日和となったこの日、商工会会員を含め、総勢47名ものゴルフ愛好家の皆さまにご参加いただきました。

商工会ゴルフコンペ初の開催となったStonewallは風光明媚なLake Manassasの景観が有名な名門コースです。難コースとしても知られ、水回りやクリーク越えが多く、また高級住宅が隣接しているため、普段に比べ苦労された方が多かったようです。

さて、本コンペでは9ホールペリエ方式で競い合いました。午後12時にショットガン方式により12組に分かれてプレーが開始。接戦の末、上位成績は以下の通りとなりましたのでご報告いたします。

優勝	中島 健次郎 様	Bourbon Foods USA	Gross 89	Net 66.6
2位	内ヶ崎 裕二 様	Toshiba America Inc.	Gross 92	Net 68.0
3位	吾妻 浩二 様	Sojitz Corp. of America	Gross 94	Net 68.4
ベスグロ	法華津 秀隆 様	Toray Plastic America	Gross 74	

プレー後クラブハウスにてビュッフェ形式の食事を楽しみながら、中村様司会による表彰式が行われました。

主催者の不肖中島が優勝してしまうという状況に関係者が一瞬戸惑いましたが、参加者の一人として、優勝の権利を頂くことといたしました。ありがとうございました。またその他受賞された方もおめでとうございます。

本コンペでは参加者皆様に賞品を用意いたしました。お米やお菓子等はご家族に喜ばれると好評でした。各賞品につきましては今回も多くの企業様よりご協賛頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。

※協賛企業(順不同):

Hana Japanese Market様、Toray様、JFC International様、Toyota様、Bourbon様

なお、本コンペの運営に際しまして、商工会スポーツ委員である法華津様(東レ)、中村様(中村リムジン)、豊田様(Wismettac Asian Foods)、吉岡様(JEPIC)、浅野様(中部電力)、深森様(JSAT)他皆様より多大なるご尽力を賜りました。深く感謝申し上げます。

さて、次回コンペは 9月 24日(日)のキャピタルクラシックトーナメントです。ワシントン商工会主催の最大規模のゴルフ・トーナメントであり、会員企業の皆様からのご協賛により豪華賞品も取り揃えて例年以上に盛大に開催をしたいと思っておりますので、是非多くの皆様のご参加を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

以上



広告募集のご案内

JCAW会報に広告を掲載しませんか？



広告のイメージ図

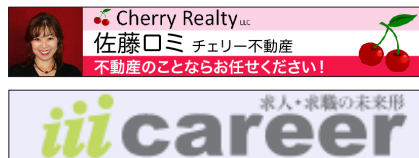
JCAWでは、広告掲載の申し込みを承っております。
JCAWは500名以上の会員からなり、ワシントン地域の
日本人社会に広く浸透しています。

是非、貴社の広告や宣伝にJCAW会報をご利用下さい。

会報の広告にリンクを設定する事により、クリック1回で、貴社
のウェブサイトやEメールアドレスにアクセスすることができます。
年間契約でさらにお得になります。

JCAWウェブサイトのトップページには、バナー掲載など、各種
オプションを取り揃えております。

詳しくは、JCAW事務局までお問い合わせ下さい。



ウェブサイトのバナーのイメージ図

料金体系（2013年11月からのレート）

広告掲載先	サイズ	商工会会員		非会員	
		月料金	年料金	月料金	年料金
会報※1	1/4ページ	\$50	\$450	\$70	\$630
	1/2ページ	\$100	\$900	\$120	\$1,080
	1ページ	\$200	\$1,800	\$240	\$2,160
ウェブサイト※2	200px X 33px	なし	\$300	なし	\$750

※1 会報広告 原稿制作費は当広告掲載料金に含まれません。原稿は広告主様にて手配願います。1年契約で1回割り引きとなります。
(会報は年10回発行)

※2 ウェブサイトのバナーは年間契約のみとさせていただきます。
(バナー作成を依頼する場合は、別途\$50～対応いたします。お気軽にご相談ください。)

お問い合わせ先

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.
1819 L Street N.W., B2, Washington, D.C. 20036
TEL: 202-463-3947 FAX: 202-463-3948
Email: office@jcaw.org URL: www.jcaw.org

米国での生活と移民法 第23回「移民法最新情報¹」

米国移民法弁護士 石田 砂織

夏の間に人事異動をされる企業も多いかと思います。今回、大使館、領事館のビザ申請手続きの最新情報についてお話しします。また、審査期間が長引く移民局での手続きを、少しでも早める方法に関してもお話し致します。

＜夏季に在日大使館、領事館でのビザ面接が必要な方は予約をお早めに＞

毎年夏になると、大使館の職員も夏休みを取る一方、ビザ申請者の数も増えるので、大使館、領事館が混み合います。去年のこの時期には、ビザ面接の待ち時間が3週間前後かかる時もありました。したがって、夏の間に日本でビザを申請する必要がある方はお早めにされることをお勧めします。尚、6月、7月は以下の日にちは、日本大使館、領事館でのビザのサービスが休業となります²。

- ・ 6月28日：午後のビザサービス休業
- ・ 6月30日：ビザサービス休業
- ・ 7月4日：アメリカの独立記念日のため、大使館、領事館が休業
- ・ 7月17日：日本の休日（海の日）のため、大使館、領事館が休業

＜一部のビザ申請者を対象とする補足質問書の要請開始＞

今月初めより、各アメリカ大使館、領事館では一部のビザ申請者のみに補足質問書([DS-5535フォーム](#))に回答を求めることを開始しました。尚、一部の日本のメディアでは、全てのビザ申請者にこの補足質問書が渡されると間違って報道されていますが³、実際に補足質問書の対象となるのはごく一部のビザ申請者のみですので、安心してください。（当事務所でも日本語のニュースを見て慌てて連絡される方も見受けられます。）国務省によると、実際に補足質問書が渡されるのはビザ申請者全体の0.5%ほどと予想されています⁴。

対象となるのは、テロリズムなどの国家安全保障上、ビザの発行前に詳細な調査が必要であると判断された一部のビザ申請者のみです。例えば、米国国務省がテロ支援国家と指定した国⁵や国籍を持つ者や、イスラム国やアルカイダなどのテログループに支配された地域に渡航したことがあ

1 本文に書かれている情報は、執筆時点のものです。その後の法改正などは反映しておりません。また、本文の内容は具体的な個別事案に関して法的なアドバイスをするものではありません。本文に書かれている意見等は、執筆者個人のものであり、ワシントンDC日本商工会のものではありません。

2 <https://jp.usembassy.gov/visas/>

3 例：http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM01H51_R00C17A6000000/

4 <https://www.federalregister.gov/documents/2017/05/04/2017-08975/notice-of-information-collection-under-omb-emergency-review-supplemental-questions-for-visa>

5 現在は、イラン、スーダン、シリアがテロ支援国家と指定されています。参照：<https://www.state.gov/j/ct/list/c14151.htm>

るビザ申請者、軍事的兵器生産の技術などを持つ方などが対象となります。捕捉質問で聞かれる情報は以下の通りです。

- ・ 過去15年間の旅行先とその費用の出費元
- ・ 過去15年間の職歴
- ・ これまで発行された全てのパスポートに関する情報
- ・ 兄弟、姉妹の生年月日
- ・ 子供の生年月日
- ・ 現在、及び過去の配偶者やパートナーの名前と生年月日
- ・ 過去5年間に使ったことのあるソーシャルメディアのID(パスワードは聞かれません。)
- ・ 過去5年間に使ったことのあるメールアドレス

以上です。あまり日本人のビザ申請には影響はありませんが、上記に挙げた国や地域に行ったことのある方は注意が必要です。

＜プレミアムプロセスの使用が認められていないが、移民局での審査を早める方法＞

ここ数ヶ月、移民局の審査期間が全体的に長引く傾向にあります。また、プレミアムプロセスと呼ばれるH-1Bの審査特急サービスが今年4月より一時停止となりました。移民局では、プレミアムプロセスという正式な審査特急サービスがない場合でも、審査を早めてもらう手続きがありますのでご案内致します。この手続きは、既存のプレミアムプロセスとは別の手続きで、一定の条件を満たした場合、移民局の任意で、申請書類の審査を迅速化する手続きです。したがって、Lビザ、Oビザの申請など、現在プレミアムプロセスの申請が可能の場合は当てはまりません。

この手続きを利用できる場合の例としては、以下の場合が挙げられます。

- ・ H-1B延長の申請をしたが、移民局での審査期間が長引いているため、H-1B延長申請書類審査期間に与えられている240日間の労働期間がもうすぐ切れるので、一時的に就労を中止しなくてはならない日が迫っている。
- ・ H-1B延長の申請書類が現在審査中であるが、急な理由で海外に出張しなくてはならない。現在パスポートにあるH-1Bビザの有効期限はすでに切れているため、新しいビザを取得し、アメリカに再入国するには移民局よりH-1B延長の認可通知が必要。
- ・ H-1B新規の申請をしたが、現在許可されている就労期間が9月30日に切れるのに、7月後半になっても認可の通知がこない。10月1日までに認可が出ないと、雇用を一時停止する必要があるため、現在担当している重要なプロジェクトが終了できず、雇用者に大きな損害が出てしまう。
- ・ Eビザから永住権の申請をしているが、審査期間中にアメリカに出入りできるために必要なAdvance Paroleと呼ばれる書類の認可が下りるのに時間がかかり、困っている。急な理由でアメリカを出る必要があり、Advance Paroleの認可が必要。

移民局では、以下の条件を満たしている場合、任意の判断で審査を迅速化することができます。

- ・現在の審査時間のままだと、企業や個人に金銭的に大きな障害が出る場合
- ・緊急の場合(例:ご家族の不幸など)
- ・人道的な必要性
- ・アメリカの文化的、社会的な国益の促進を促す非営利団体による申請書類
- ・アメリカ国防省や、その他アメリカ国益に関わる場合
- ・移民局により、データの入力ミスなど何らかの間違えのため審査が遅れた場合
- ・その他、移民局の利益に関わる場合

申請手続きは、審査を担当している移民局に、書面にて、申請書類の認可がすぐに必要な理由と、上記のいずれかの条件を満たしていることを説明し、移民局にお願いすると言った、比較的インフォーマルな手続きです。移民局は審査の迅速化のリクエストを認めるかどうかを任意で判断します。上記にある例のケースであれば、1ヶ月ほどで、認可通知が出るケースが多いでしょう。上記のようなケースでお困り場合は、担当の移民方弁護士に相談されると良いでしょう。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

石田砂織プロフィール:

アメリカ移民法専門家として12年以上の経験を持つ弁護士。イミグレーションローグループ法律事務所、バーンズ & ソーンバーグ法律事務所を経て独立し、[Ishida Immigration Law PLLC](#)を設立。アメリカでビジネスを営む日系企業を含む様々な法人、個人のクライアントに幅広く移民法のサービスを提供している。ニューヨーク州、ワシントンD.C.にて弁護士資格を持つ。米国移民法弁護士協会 (AILA) 所属。お問い合わせ、ご相談をご希望の方はcontact@ishidaimmigration.comか (202) 656-8778までご連絡下さい。

ワシントン月報(第135回)

「30年闘争記(25)～ローファームの分裂～」

米国特許弁護士 服部 健一

～これまでのあらすじ～ ウィルソンと服部のWH法律事務所は、17人の弁護士と40名の秘書と事務員で順調にすべり出した。しかし、匿名の日本人の名前でバージニア・バー・アソシエーションに、ケン服部は経歴を詐称している、というタレコミ情報があり、その処理に大わらわとなった。幸い、多くの友人弁護士や米国特許庁の高官が、そういう事実は全くない、という宣誓書を作成してくれ、バージニア・バー・アソシエーションはタレコミは単なる誹謗でしかないと結論し、訴訟にならず乗り切ることができた。

しかし、次に米国の巨大知財雑誌出版のX社から、私の日本語の判例レポートは同社の判例レポートを訳したものにすぎず、著作権違反だ、損害賠償を払え、直ちに判例レポートの掲載を停止せよ、その上、謝罪広告を掲載せよ、という抗議文が投げ込まれたのには閉口した。これはヘタすると訴訟になりかねないので、訴訟弁護士のドーズと相談し、著作権では超一流の弁護士を雇って対応したところ、最終的にはX社の判例レポートこそプレイジャリズム(剽窃、盗作)という違法行為を行っていることを発見し、X社は慌てて主張を引き下げて終了した。

こうして、アダムズ弁護士が仕掛けたと思われる策略を一つ一つ乗り越えてWH法律事務所は順調に動き始めた一方、アダムズ事務所では息子のサミー弁護士がアダムズ事務所を抜け出したという事件が生じた。そこでサミーとあって話すと彼は親父に拘束されず、自分で自分の道を歩みたいと話していた。これは私が20年位前にアメリカに来たのと同じ理由だったので話は大いに盛り上がった。

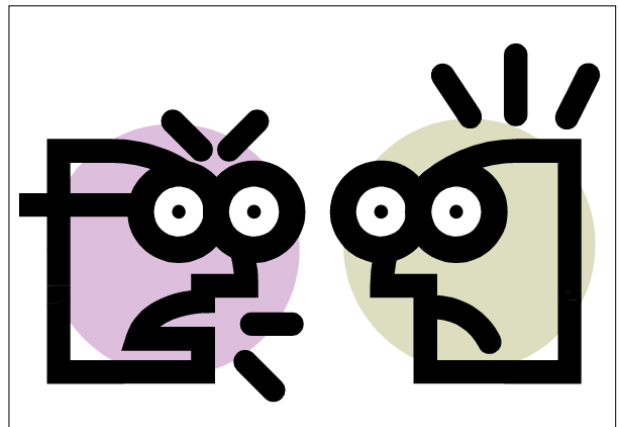
そしてその後、アダムズ弁護士は何と自分の事務所を出て、息子の法律事務所に入ろうとしたが、条件が合わず結局そこにも行かず、かといって元の事務所にも戻れなかったので自宅の側の友人の事務所の一室を借りて一人事務所を始めた。

アダムズ弁護士が出て行った事務所はAKQ事務所からKQ事務所となり、元アダムズ事務所と謳っていたが、アダムズ弁護士が抗議し、訴訟になったので、KQ事務所はその一文をウェブサイトから消去して事務所暦詐称の問題を解決していった。そうこうしている内に、アダムズ弁護士が風邪をひいて、あっさり他界してしまったという情報が入ってきた。

.....

あの頑強なアダムズ弁護士がこうもあっさり他界するとは夢にも思っていなかった。やはり長年の酒浸りで体が弱っていたのだろう。

彼が日本の特許ビジネスに目覚めたのは朝鮮動乱で日本へ行ってかららしい。当時、彼は30数歳の若き特許弁護士であり九州の部隊に派遣された。彼は日本人の友人がたまたまアメリカにいた関係で日本語に興味を持ち、趣味でカタコトの日本語を話せたが、日本に住む内にその熱意は



一層高まり、常に漢字辞書を持って漢字を書く練習をして、話すだけでなく、読み書きも勉強していた。当時、日本語を多少でも話す白人のアメリカ人は皆無であったから、日本人は彼に興味を持ち、よってたかって日本語を教えたがっていた。それに彼は1メートル80センチを越す巨漢で、若い頃は結構ハンサムであったから日本女性にはかなりもてたようだった。

更に、日本の本当のビジネスの話は夕方6時以降飲みながら始まるから、大酒豪の彼にとっては日本生活はヘブンのようだったらしい。勿論、彼は弁護士としても立派で、重要な判例はほとんど頭の中に記憶しており、判例のケース番号も、「ああ、その問題は19XX年の〇〇〇判決に記載されているよ」と、よく即答していた。こうして彼は日本で最も著名なアメリカ人特許弁護士となり、多くのクライアントを有してアダムズ事務所を築いて来た。

しかし、歳を取るにつれて酒の害が体に出始めた。糖尿病が悪化し、足の指を切断している。若い頃はたとえ酒を飲んでも仕事もバリバリであったが70歳を過ぎるころから体がもたなくなってきた。それでも日本には酒仲間が大勢いるから年に日本に3、4ヶ月も滞在していた。やがて日本企業も接待を当てにして来日するアダムズ弁護士に対して問題が生じ始めたが、日本人は白人弁護士には決して文句を言わないから、彼は自分の問題に気が付かなかった。つまり、彼の晩年の問題は半分くらいは日本の責任であるとも私は考えていた。

ともあれ、一度成功した白人弁護士が現実を知るのは困難なのだろう。我々は事務所の分裂はできるだけ避けたかったが、晩年の彼は息子をサポートすることしか頭にはなく、結局は、「お前らは出て行け」となって不承不承、分裂を余儀なくされたといってよい。しかし、たとえ分裂に至ったとしても、我々は皆、多少彼に恩義を感じていた。とにかく、お葬式には参列しよう、というのが我々のせめてもの思いであった。ウィルソン弁護士がそのお葬式情報を持ってきた。ドーズ、アーサーも含めて話し合う。

「で、お葬式はいつごろなんだ？」

「どうもその情報が入ってないんだ」

「詳細が分からないのか？」

「詳細は何も入ってこない」

「つまり、家族だけで行うというのか？」

「いや、AKQ事務所の...いや、今はKQ事務所か、そのKQ事務所の何人かは参列するらしい」

「つまり、KQ事務所でも全員はだめなのか？」

「そうらしい、つい最近までアダムズ弁護士はKQ事務所と訴訟していたからね」

「で、我々のWH事務所は誰も参列できないのか」

「どうもそうらしい。だから一切情報が入ってこない」

「何てこった」

「それはアダムズ弁護士の遺言なのだろうか」

「その辺は分からない。しかし、どうもそれはアダムズ夫人の意向らしい」

「ふーん。アダムズ夫人は我々のことを仇敵と思っているのかな」

「もしかするとアダムズ弁護士は、我々はアダムズ弁護士を裏切った、卑怯者と夫人に話してたんじゃないかな」

「そんなばかな！我々は追い出されたにも等しいんだぞ！」

「恐らくアダムズ弁護士は分裂すれば2/3のクライアントは自分達に来る、と確信していたに違いない。だからこそ我々が出て行くように仕向けてきたんだ」

「しかし、現実とは全く逆になった…」

「だから頭に来て、夫人にひどいやつらだと説明していたのだろう」

「それを夫人が信じた、というのか」

「実際それが真実だった裏話があるんだ」

とドーズがいう。

「ドーズ、それはどういう意味なんだ？」

「いや、今だから話すが、分裂する一週間前までは、俺はアダムズ事務所に残るつもりだったんだ」

「何だって！」

私とウィルソンとアーサーは思わず叫ばざるを得なかった。一体どんなドラマがあったんだ？

「私とアダムズは師弟関係だった。ずっと訴訟を一緒にやっていたしね」

それは我々も知っていた。新しい事務所を成功させるには①事務所の運営、②特許出願の業務、③訴訟の業務、そして④クライアント/仕事の確保の4つが基本だった。①はウィルソン、②はアーサー、③はドーズ、④は私が管理することで我々WH事務所は成り立つと考えていた。訴訟を行うドーズが居ないと大事な歯車がなくなると感じていた。結果的に我々に2/3のクライアントが来たことはドーズの力が相当あると私は感じていた。我々3人はドーズの顔を見て聞き入った。

ドーズが当時のアダムズ弁護士との会話をポツポツと話し始めた。

「分裂する3日前だったが、私はアダムズ弁護士に言ったんだ…。もし分裂してWH事務所を訴えなければ私はあなたについて残ろう、と」

「冗談じゃない。あいつらは恩知らずだ。叩きのめすには俺は訴訟でも裏手口でも何でも使ってるさ！」

「いや、そんなことをしたら両事務所ともだめになる。クライアントは争いが続く事務所はどちらも好まない」

「そんなこと知るか！これは俺の事務所だ。あいつらは俺のクライアントをただ乗りしようとしている！」

「いいかアダムズ、それがあなたの生き甲斐なら私はついていけない。私はWH事務所へ行く。それでもいいか？」

「何を馬鹿なことを言っている！お前は俺が育てた部下じゃないか！」

俺はその一言には流石にはむっとしたね。

「俺が育てた？まあ多少はそれはあるが、私は私で自分でここまで来たと思っている」

「いいかドーズ、お前はケン・ハットリみたいな日本人の下で働くことが平気なのか？」

「誰かの下で働くって？冗談じゃない。我々はパートナー制だから平等だ。何てことを言っているんだ！」

「お前の親父はどう思うんだ？息子が日本人の下で働いて」

「何を馬鹿なことを言い出すんだ。俺の親父がこの分裂と何の関係があるんだ！」

「良く頭を冷やして考えるんだ！」

「どっちが冷やさなければいけないんだ。アダムズ、あんたはちょっとおかしくなっている」

我々3人は固唾を飲んでドーズの話を聞いていた。

そんなドラマがあったのか！

「その時私は決心した、アダムズと働くのは無理だ、WH事務所に来ようと決心した。この事務所がスタートする2日前だった」

ふーっと私は息を吹いた。もしドーズが居なかったら新米事務所は訴訟対応はどこまで出来たか分からない。つくづく人生とは運だと思った。

「ともあれ、話をアダムズ弁護士のお葬式のほうに戻そう」

「要するにアダムズ弁護士は自分が人生で始めて負けたと知って、我々の悪口を夫人に叩き込んできたのだろう」

「そうだろうな。そうじゃなければあの穏やかで賢い夫人が我々の参列を拒否するなどあり得ないだろう」

「彼の最後は自分一人の事務所だった。夫人にとっては何故こんな風になったんだ、出て行ったやつらのせいだろう、としか考えられないのだろう」

結局、アダムズ弁護士の人生は幸せだったのだろうか。我々から見れば一人で他界すること自体があまりに寂しいといえる。しかし、そこはアメリカ人だ。もしかすると、俺は俺なりに好きなことをして後悔はしていない...と思っていたのかもしれない。フランク・シナトラもMy Wayで、「I did it my way...」と歌っていたように...(ちなみにあのMy Wayは元はフランス民謡で、ポール・アンカが作詞、編曲してシナトラに捧げた歌である)。

とにかく、もう少し詳しい情報を集めてみる、とウィルソンは言って、杖をつき足を引きずりながら自分のオフィスへ戻っていった。我々3人はその後姿を見ながらちょっと心配になった。

「ウィルソンの足は段々悪くなっている気がするが...」

「何が原因なんだ？ テニスじゃなさそうだな」

「もし何らかの病気だとすると深刻な問題になる可能性があるな」

とドーズがいう。

「何故だ？」

「宗教の問題があるからだ」

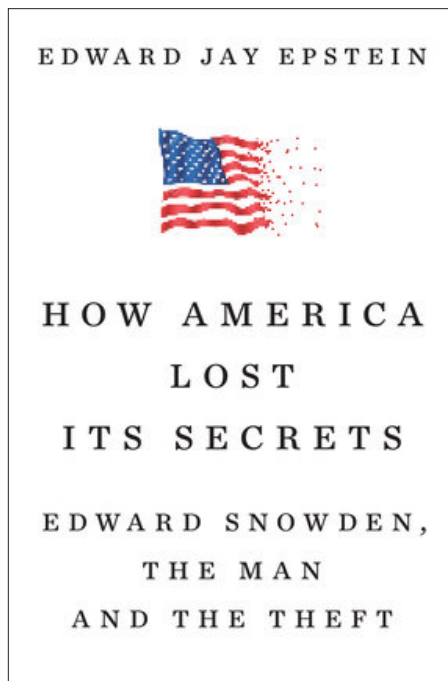
「宗教？」

(続く。この物語はフィクションで、実物の人物、事務所とは一切関係ありません。)

今月の書評

サイバースペース戦争の申し子 エドワード・スノーデンの正体 「アメリカはいかにして秘密を失ったか」 エドワード・ジェイ・エプSTEIN

ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子



「アメリカはいかにして秘密を失ったか」
エドワード・ジェイ・エプSTEIN
(クノップフ)

本書は米政府の情報収集活動を暴露し、ロシアに亡命したエドワード・スノーデンの足取りを追い、その動機に迫った調査報道である。著者はMITやUCLAで政治学を教えていたこともある、ベテランの記者だ。

スノーデンは2013年5月20日にハワイのNSA支部から国家機密を盗み出した。当時、ブーズ・アレン・ハミルトン(BAH)の職員として6週間前に任務を始めたばかりだったが、てんかんの検査中と嘘の理由で休み、香港に向かった。

香港到着後、スノーデンはただちにNSA(アメリカ国家安全保障局)批判で有名な、ベルリン在住のドキュメンタリー監督ローラ・ポイトラスと、ブラジル在住の英ガーディアン・ブロガー、グレン・グリーンウォルドを呼び、数万件の文書を渡した。

それはアメリカや全世界に対するNSAの盗聴の手口の実態や、同盟国などの協力を得た情報収集活動に関するものだった。[ベライゾン・ワイヤレス](#)などの大手通信事業者が電話傍受に協力して、NSAが加入者の通話情報を収集していたことや、インターネットと電話回線の傍受をしていたことが暴露された。

報道後、スノーデンは情報をリークした内部告発者であると名乗り出て、香港からロシアに向かった。香港滞在中、すでに国務省はパスポートを無効にしたが、プーチン大統領自ら許可したことでパスポートもビザもなしにロシアに向かうことができたのだった。

ウィキリークスのスタッフがロシアまで同行し、ロシア行きがあくまでもトランジットで、中南米などにビザを申請しているという工作を行った。ウィキリークスの創設者ジュリアン・アサンジがロシアに近いことを忘れてはいけない。

NSA、CIAと国防省が被害のアセスメントを行った結果、スノーデンがダウンロードした文書は、米軍の海外活動等、テロリストや諸外国への対策関連情報など150万件に及ぶことが明らかになった。

特にレベル3と呼ばれる、ロシアなどが長年熱望していたNSAの情報収集手法情報の漏えいは、米政府に大打撃を与えた。スノーデンはこの情報入手が目的で、減俸でもBAHに移籍した。この暴露は内部告発ではない。

高校中退のスノーデンは、祖父が沿岸警備隊少将、両親も政府勤務だったことから、CIAに入省。だが、許可されていないデータにアクセスを試み、解雇された。その後、デルの社員としてNSAに勤務。NSA等は技術スタッフをデルなど民間業者に依存している。デル時代には横田基地にも任務し、サイバーセキュリティーを陸軍、空軍スタッフに教え、インドに行き、ハッキング技術を学んだ。

スノーデンがCIAを解雇された情報は、身元調査も政府委託の民間業者が行っていることから、NSAに提供されなかった。

スノーデンはゲーマーで、その多くの仲間同様リバタリアンである。ハワイのNSA勤務時代には、「トアIP」という、アドレスを知らせずインターネットに接続しメールを送信できる匿名の通信システムを推進する集会を主催している。

スノーデンは香港で文書は破棄したと主張しているが、彼の弁護士となったプーチンに近い人物や政府関係者などが、彼が未公開文書をロシアに持ってきたと述べている。この中にはNSAがメルケル・ドイツ首相の携帯電話を盗聴していたことなど、スノーデンのロシア到着後にウィキリークスが公開した情報が含まれていた。

冷戦後、情報戦争はサイバースペースに舞台が移ったが、スノーデンはロシアにとって重要なスパイ情報源となり、米政府の優位性が一挙に失われた。

(New Leader 2017年4月号より転載)

情報セキュリティキーワード 「WannaCry」

公認情報システム監査人 佐藤 暢宏

5月に発生し世界中で被害が出たランサムウェアの「WannaCry」については、大手メディアでも多く取り上げられていたので、もう既にご存知の方も多いと思います。この場で取り上げるべきか悩んだのですが、既に亜種も報告されており¹、今後も同様の攻撃が増えることが予想されますので、やはり皆さんとおさらいしておきたいと思います。

既に多くの情報が公開されていますが、下記の内容は特に注記が無い限り、非常によくまとめられている以下の報告書を参照しています。より詳細な情報に興味のある方は、ご一読されることをおすすめいたします。

- ・「【緊急レポート】大規模ランサムウェア感染についてv1.2」、株式会社NTTデータセキュリティ技術部情報セキュリティ推進室（2017年5月22日）、<http://www.nttdata.com/jp/ja/news/information/2017/2017051701.html>
- ・「RAMPANT RANSOMWARE」、Accenture Security（2017年5月17日）、<https://www.accenture.com/us-en/insight-wanacryptor-ransomware-incident-response>

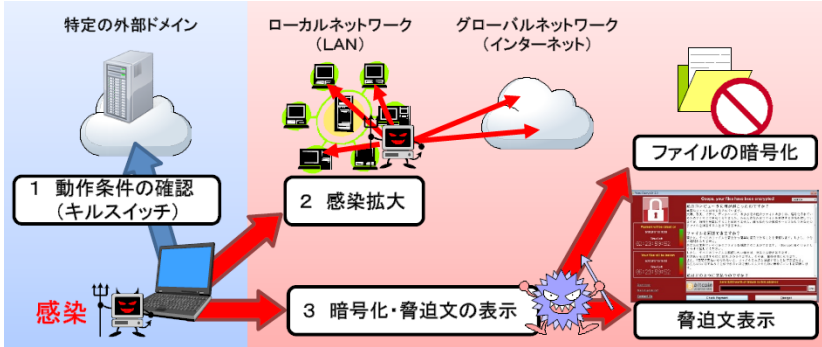
さて、まずランサムウェアとは、4月号でも取り上げましたが、文字通り、PC内にあるファイルを人質に身代金を要求してくるマルウェアの一種です。ランサムウェアも様々なものがありますが、基本的には、メールやウェブサイトの閲覧を通じてあるPC内に侵入した後、そのPCおよび同一ネットワーク内にあるPCや共有サーバーのファイルを暗号化してしまいます。そして、その暗号を解く鍵を教える代わりとして身代金を要求します。

身代金は、恐らく取引主体自体に匿名性があるためだと思いますが、仮想通貨であるBitcoin（ビットコイン）で要求されることが一般的です。ただし、身代金を払っても確実に暗号を解く鍵が教えてもらえるという保証はありません。

5月に発生したWannaCryはランサムウェアの一種です。執筆時点で公開されているWannaCryの主な概要は以下のとおりです。

名称	WannaCry（別名WannaCrypt、WannaCryptor、Wcry等）
発生日	2017年5月12日東部時間4時ごろ
被害件数（全世界）	150か国／30万台以上
被害件数（日本国内）	5月13日午前までの約12時間で、日本国内で600拠点、2,000端末で感染。5月19日までに個人ユーザ18件、企業5件、行政機関1件、総合病院1件が感染した。

¹ <https://heimdalsecurity.com/blog/security-alert-wannacry-computers-vulnerable/>

感染あたりの要求身代金額	300ドルから600ドル(感染者があきらかに支払い易い額を設定したと思われます)
支払われた身代金の総額	10万1,000ドル(あくまでも身代金なので、企業が業務停止や、ファイルにアクセスできなくなったことによる損失は、企業によっては非常に大きなものとなったところもあると思います)
犯行グループ	不明
攻撃手法	5月末時点で、正確な感染経路は不明です。一旦感染すると「キルスイッチ」と呼ばれる緊急停止用のドメイン²が稼働しているかを確認し、ネットワーク経由で感染を広げて、端末上のファイルを暗号化し、ビットコインで身代金の支払いを要求します。  図表 1: WannaCryの動作概要³

WannaCryは、以下の3つの条件を満たす端末が感染するので、基本的な対策は、その3つの感染条件を可能な限り全て回避しておくことにあります。

感染条件	対策
1. 接続しているネットワークのファイアウォールのポート番号445番(TCP)が開いている。	ファイアウォールのポート番号445番(TCP)を閉じるか、安全に運用できるようにする。
2. Windowsがファイル共有に使用するプロトコルのSMB v1が有効になっている。	SMB v1を無効にする。
3. Windowsの脆弱性を修正するパッチ(MS17-010)が適用されていない。	修正パッチを適用する。

Windowsの脆弱性を修正するパッチ(MS17-010)は、サポート対象のWindowsのバージョンに関しては3月時点で既にマイクロソフトが提供していましたので⁴、今回感染した端末は、適切なパッチ管理ができていなかったと言えます。またこれは、ITセキュリティ対策上、いかにパッチ管理が重要であるかを物語っていると言えるでしょう。

² [iugferfsodp9ifjaposdfjhgosurijfaewrwergwea.com](https://www.npa.go.jp/cyberpolice/detect/pdf/20170519.pdf)、[ifferfsodp9ifjaposdfjhgosurijfaewrwergwea.com](https://www.npa.go.jp/cyberpolice/detect/pdf/20170519.pdf)が判明している。

³ 警察庁、<https://www.npa.go.jp/cyberpolice/detect/pdf/20170519.pdf>

⁴ <https://blogs.technet.microsoft.com/jpsecurity/2017/05/14/ransomware-wannacrypt-customer-guidance/>

もう一点、マイクロソフトは「影響の大きさを考慮し、すでにサポートが終了しているWindows XP, Windows 8 および Windows Server 2003についても例外的にセキュリティ更新プログラムを公開しています」が、それは事態の影響が大きくなってからのことです。ベンダーのサポートが終了しているIT製品を使用し続けることのリスクについて改めて検討しておくべきでしょう。

いずれも企業のシステム管理部門が既に対策済みであると思いますが、業務部門の方で個別に対応しなければならないような場合は、以下が少しでも参考になればと思います。

対策	方法
ファイアウォールのポート番号445番(TCP)を閉じるか、安全に運用できるようにする。	あくまでも自己責任でお願いいたしますが、例えば、以下のようなツールで、自分のネットワークで445番が空いているかどうかを確認することができます。 http://www.yougetsignal.com/tools/open-ports/ 空いている場合は、ルーター等を適切に設定する必要があります。
SMB v1を無効にする。	以下のマイクロソフトのサポート情報に記載されています。 https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2696547/how-to-enable-and-disable-smbv1-smbv2-and-smbv3-in-windows-and-windows-server 「Windows クライアント: [プログラムの追加と削除] を使用する方法」が一番わかりやすいのではないのでしょうか。
修正パッチを適用する。(古いWindows OSを使用している場合は、Windows Updateの自動更新で適用されない場合があるので、注意が必要です。)	まず、以下のマイクロソフトのサポート情報にある必要なパッチ(こうしんプログラム)の番号を確認しましょう。記載されている40で始まる7ケタの番号の頭にKBをつけるとパッチの番号になります。(例: 4012212⇒KB4012212) https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4023262/how-to-verify-that-ms17-010-is-installed 次に、その番号のパッチが適用されているかを確認します。 https://www.microsoft.com/ja-jp/safety/pc-security/inst_history.aspx

最後に、WannaCryに限らない一般的なランサムウェア対策について、しつこいようですが、再掲しておきたいと思います。これは結局のところ通常のITセキュリティ対策と何ら変わりありません。

まず何はともあれ、ウイルス対策です。以下は基本的な5つの対策ですが、詳細は、「ワシントンDC日本商工会会報号外 ~ Vol.14~ITセキュリティ入門」(http://www.jcaw.org/main/wp-content/uploads/2015/04/vol14_secured_v2.pdf)をご一読いただければと思います。

1. 電子メール配信サーバー(メールサーバー)レベルでウイルススキャンを実行する。
2. ユーザーが使用するPCや共有しているファイルサーバーにウイルス対策ソフトウェアを導入し、常に最新の状態に保ち、その状態を把握しておく。

3. ユーザーが使用するPCや共有しているファイルサーバーでソフトウェア・ファイアウォール機能が常に有効な状態に保ち、その状態を把握しておく。
4. 業務に使用しているソフトウェアを全て把握し、常に最新の状態に保ち、その状態を認識している。
5. 記録メディアやインターネットを利用する際のルールを定めて、ユーザーに周知徹底する。

また、ランサムウェア対策において特に重要なのが、ファイルのバックアップです。どんな対策を講じてもランサムウェアの感染を100%防ぐことはできません。ただし、ファイルを暗号化して身代金を要求するランサムウェアだからこそ、暗号化される前の状態のバックアップさえあれば、暗号を複合する必要も身代金を支払う必要が生じる可能性を可能な限り低減させることができるのです。

基本的なデータのバックアップ実施手順は、以下のとおりですが、詳細は、「ワシントンDC日本商工会会報号外 ～ Vol.14～ITセキュリティ入門」(http://www.jcaw.org/main/wp-content/uploads/2015/04/vol14_secured_v2.pdf)を参照ください。

- データの棚卸しと重要度の評価を実施する。
- データを復旧するまでの時間と復旧する必要のある過去の地点を検討する。
- バックアップ対策に使える費用を検討する。
- 適切なバックアップ手法を選択し、それに応じて、適切なバックアップソフトウェアおよびハードウェアまたはサービスを選択する。
- 選択したバックアップ対策を設定し、データのバックアップを開始する。
- 設定したバックアップ対策をモニタリングする。
- バックアップしたデータが回復可能かどうかを定期的にテストする。



佐藤暢宏プロフィール

ITのヘルプデスク、ネットワークエンジニアを経て、大手監査法人で、公認情報システム監査人として、主に製造業や金融・保険業の内部統制監査やシステム監査、情報セキュリティ監査をしていました。現在は、インターナショナルアクセスコーポレーション(IAC)で、各種ITサポートとサイバーセキュリティ対策サービス、委託調査等を提供しています。詳しくは、www.iacdc.comまたはsupport.iacdc.comをご訪問下さい。

ご感想、ご指摘、ご質問、ご希望されるテーマ等、お気軽にnobuhiro.sato@iacdc.comまでご連絡ください。少しでも多くのフィードバックがいただければ幸いです。

English Rescue by Jennifer: 「日本人が間違しやすい英語表現(63)」

ジェニファー・スワンソン

DC Election Aftermath Terms #5

Last month, we discussed 100 day milestone of the Trump Presidency (April 29, 2017) as well as the federal government budget deadline (April 28, 2017). The budget deadline was **punted** to September 30, 2017 (the last day of the fiscal year.) We expect more drama and political discussion as the September date looms, but that is still more than 3 months away and there are so many other newsworthy events happening. “Our country needs a good ‘shutdown’ in September to fix mess!” (Wapo.com)

Many of you may have watched former FBI Director Jim Comey’s Senate testimony on Thursday, June 8, 2017. For us average Americans, these hearings are unprecedented and we watch with more and more concern.

The Washington Post summed up 7 **take-aways** from Comey’s testimony.

1. **Comey is pretty sure Trump inappropriately interfered in the investigation — but Trump didn’t ask the FBI to drop it entirely**
2. **Comey thinks the president is a liar**
3. **The way Trump handled Comey’s firing prompted Comey to speak**
4. **Democrats are pretty sure Comey’s firing is the key to what the president did wrong**
5. **Republicans aren’t trying to defend the president**
6. **Republicans are critical of why Comey didn’t speak up**
7. **No side comes off well in Comey’s telling of events**

Democrats and Republicans wanted different things from the Comey testimony. Democrats wanted Director Comey to do what he did to Hillary and knock Trump out of the presidency. And he did not do that. Republicans, on the other hand, admitted that Trump made a mistake. House Speaker [Paul Ryan](#) has tried to explain away [Donald Trump](#)’s behaviour towards former FBI Director [James Comey](#) by saying that the President is “new at this, new to government”. (independent.co.uk) However, they claim that the mistakes made are not **obstruction of justice**. **Comey testified that Trump “hoped” to let the case**

- https://www.washingtonpost.com/news/the-fix/wp/2017/06/08/6-takeaways-from-james-comes-extraordinary-testimony-about-trump/?utm_term=.24fd273f38d4
- <http://www.independent.co.uk/News/world/americas/us-politics/comey-testimony-trump-paul-ryan-response-new-to-this-comments-latest-news-a7779796.html>



アムトラック大陸横断鉄道乗車記

渡り蟹

はやくも6月になりました。皆さま待望の夏休みの御旅行を計画なさっておられることと存じます。私は昨年(2016年)8月に、アムトラックの寝台列車でワシントンDCからサンフランシスコまで旅行しましたので、ぜひこの機会にご紹介したいと思います。



上掲写真はアムトラック<http://blog.amtrak.com/>から引用。他の写真は全て筆者撮影。

アムトラックと言えば、ワシントンDCからフィラデルフィア、ニューヨークを経てボストンに至る、いわゆる北東回廊が有名だと思いますが、今回ご案内したいのは、同じアムトラックが米国の貨物鉄道の線路を借りて運営する寝台列車です。歴史的には、様々な旅客鉄道会社が多様な路線と列車で競ってきたようですが、高速道路と航空網の発達に敗れ、ほとんどの会社が消滅し列車も一握りだけが残存している状況です。トランプ大統領が廃止をほのめかしたこともありますので、お早目にご体験いただくことをお勧めします。(Eliminates funding for many new transit projects and support for long-distance Amtrak trains https://www.washingtonpost.com/graphics/politics/trump-presidential-budget-2018-proposal/?utm_term=.92beba64001e)

なお、アムトラックには東海岸と西海岸を直接結ぶ列車は存在せず、私はワシントンDCとシカゴを結ぶ「Capitol Limited」号と、シカゴとサンフランシスコ(正確には対岸のエミリービル駅)を結ぶ「California Zephyr」号で横断しました。ニューオーリンズ行の「Crescent」号やテキサスを経由する「Sunset Limited」号などいろいろありますので、アムトラック路線図をよくご覧になって、たくさんの

選択の中から旅程をご検討ください。一番景色がいいと評判なのは、私が乗車したうちの後者の「California Zephyr」号だそうです。

また、バージニア北部のロートン駅(DCの約20km南)からフロリダ州サンフォード駅(ディズニーのあるオーランドの約40km北)までノンストップで結ぶ「Auto Train」号は、お客と一緒に乗用車を運んでくれる列車で、旅客列車としては世界一の長さ(1200m、東海道新幹線の3倍)だそうです。また停車駅間の距離1376kmも世界一かもしれません。

ほとんどの列車が1日1本しか走っていません(2日に1本のものも)。日本のローカル線よりももっと少ないですね。と言っても「California Zephyr」号は始発駅から終着駅まで52時間を要するので、同じ方向の列車が3本同時に走っていることになります。

アムトラックの時刻表は、アムトラックのサイト(<https://www.amtrak.com/train-schedules-timetables>) 本稿での時刻は全て2017/6/1現在)からダウンロードすることができます。また、ユニオン・ステーションの待合室で、列車ごとの時刻表を紙媒体で入手することができます。

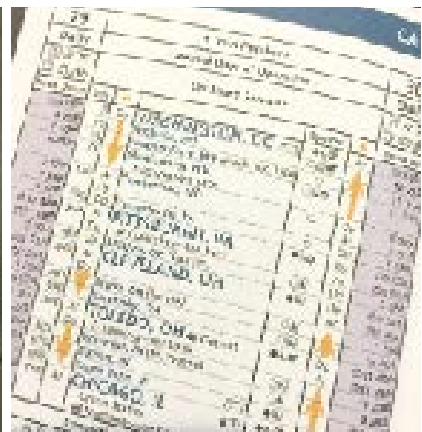
「Capitol Limited」号
ワシントンDC発 午後4:05
シカゴIL着 午前8:45

「California Zephyr」号
シカゴIL発 午後2:00
エミリービルCA着 午後4:10

【アムトラック旅行のポイント】

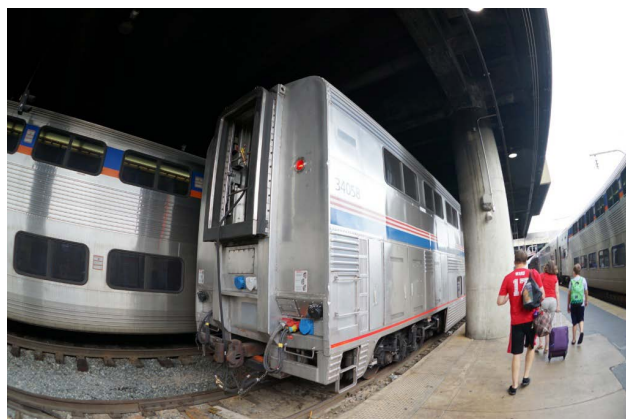
- 忙しいかたは、デンバーCOからサクラメントCAまでのコロラド渓谷沿いだけでもお乗りになる方法もあります。1泊2日の汽車旅でロッキー越えのダイナミックな風景を楽しむことができます。
- 寝台車は、2人用個室と4人用個室だけです。個室料金を満額払えば1人で乗ることも可能です。寝台客は、シャワーを使うことができ、食堂車の食事を無料で頂けます(ドリンクもデザートも無料、アルコールは有料)。座席車はすべて自由席で、シャワーが使えないことに留意してください。
- 冬に乗ると車窓が雪で真っ白だそうです。乗車シーズンとしては、やはり春から夏、秋が良いようです。

アムトラック「Capitol Limited」号と「California Zephyr」号の列車編成は、ほぼ同一でした。(車輛数はシーズン次第でしょう)



機関車：ちょっとくたびれた外観の機関車です。

ディーゼル機関車2輛 + 荷物車1輛 + 乗務員車1輛 に続き、
座席車2輛 + 展望車1輛 + 食堂車1輛 + 寝台車3輛です。



寝台車外観：オール2階建なのでとても壮観です。（1階建の列車もあるのでご確認を）



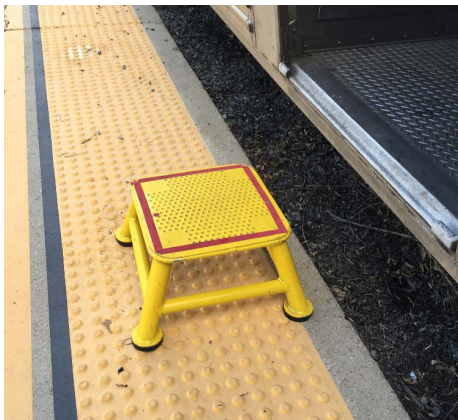
食堂車：食堂車は、寝台客は優先的に予約できます。意外と分量が多くて、デザートまで食べるのは大変でした。



展望車：ミシシッピー川を渡るところです。2階ですし天井側にも窓があります。1階は売店になっていて、軽食やスナックが買えます。窓が大きいので夕焼けがきれいでした。



ファミリー個室：大人2人と12歳までの子供2人で使えます。写真で見るよりずっと広く感じます。実は車輛の右と左に窓が付いているのはファミリー個室だけなのです。スタンダード個室（ロムレットと呼びます）ですと、左右のどちらかしか見えません。なお、デラックス個室（ベッドルームと呼びます）はトイレとシャワー付きですが、シャワーはトイレの便器の上にある！ので、日本人には慣れないかもしれません。



踏み台：プラットフォームは大きい駅しかありません。車掌さんが踏み台を置いてくれます。



シカゴ駅の豪華な待合室。軽食が出ます。



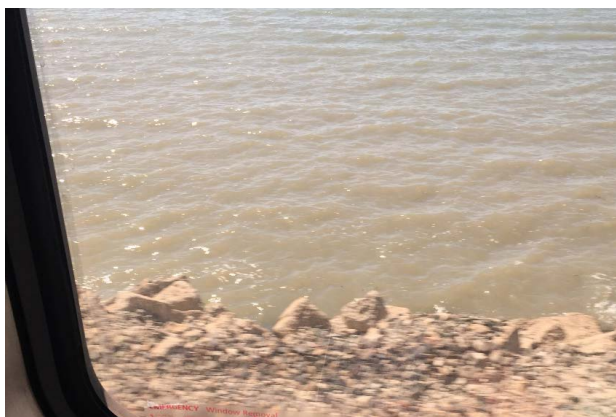
コロラド溪谷



ネバダの砂漠地帯



カルフォルニアの山越え：寝台車から前を見ると、くねくねした線路を機関車がグイグイ進んでいくのが見えます。



サンフランシスコ湾



終点エミリービル駅からサンフランシスコ市内までは連絡バスで移動します。人気の観光地ですので、港埠頭、路面電車、ゴールデンゲートブリッジなど見どころ満点です！最後の写真は途中のデンバー駅で窓を洗う駅員さん。お陰さまで素敵なアメリカの雄大な景色を車内から満喫できました。

さて、サンフランシスコの海(太平洋です！)が見えると、アメリカ大陸横断の旅もようやく終わります。東海岸から西海岸まで、3泊4日の列車の旅はいかがでしたでしょうか。ぜひ皆様も素敵な夏休みをお過ごしください。

以上

6月号 編集後記

今年も6月の半ばとなり後半戦に突入しようとしています。そろそろ任期を終えご帰国される方々の噂もチラホラと聞こえてくる時期になり少々センチメンタルな気分にもなっていますが、気候は初夏の清々しさを感じる様になってきました。



ところで、アメリカのインフラ整備の劣化が叫ばれて久しいですが、遅延や故障の多い地下鉄やデコボコだらけの道路には辟易しながらも『こんなものか…』と少々慣れてきたところ。。。先日メモリアルデ-に引っ掛けた旅行から帰ったら、水道局の『断水します』の通知書が。午前か午後のみ？ と思いつつ念の為に水道局に電話すると、『通知書に書いてある期間通り。アイム・ソーリー』で終わり。シャワーはいざ知らずトイレの水も汲んでおくべしとご丁寧な説明が記載されていますが、断水期間は火曜夜から金曜朝まで。周辺に聞いてみても『ずっと水がでないなんてありえない』とは言いつつ、『でもアメリカだからね…』とのコメントばかり。どうしようかと迷ったものの、早速近所のホテルに避難しました。実際に4日間に渡って断水していたのかどうかは近所に伺っていませんが、期間中に立ち寄った際に前庭の一部が大きく掘り起こされていたので結構な大工事だった様です。インフラの改善は有難いことで新政権の方針には期待大のところもあるのですが、普段の生活にできるだけ影響を与えない様に配慮しながら工事、はアメリカでは望むべくもない様で。。。やはり庶民の生活には厳しい国だと感じた出来事でした。

吾妻・荒堀

会報郵送有償サービスのご案内

会報は紙資源節約と郵便料金など経費節約の観点から原則としてWEBベースでご覧いただいておりますが、WEB環境が不十分な方のために希望者にはプリンターで印刷した会報を郵送いたします。料金・お支払い方法等の詳細をご案内いたしますので、ご希望の際は、下記までご連絡願います。

ワシントン日本商工会事務局

TEL: 202-463-3947 FAX: 202-463-3948 Email: office@jcaw.org